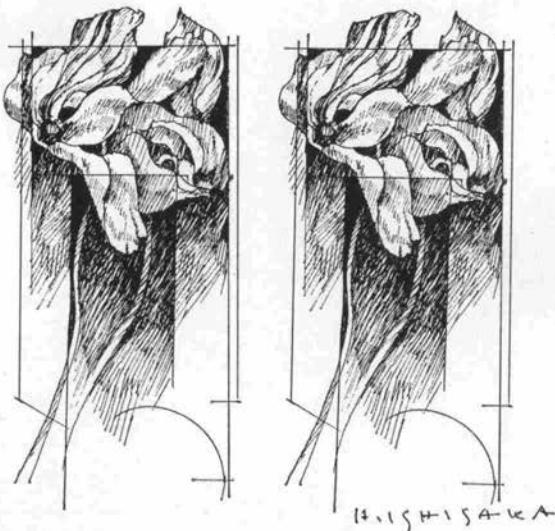


# 銀の茶托

たかとう匡子

カット／石阪春生

JR三宮駅と神戸駅をつなぐ高架下商店街モトコウを歩いている扇風機 小型テレビ 炊飯器 荒ゴミ回収置場に似た店の前 どれでも千円と書いてある△いやあ港に船が入らなあきまへん△ジヤンパーの男の背中が見える売れるかと聞いたのだろう△外国船で二か月に一回やけどこれ全部のうなります△不良品でない証拠のように放映している店頭のカラーテレビの画像は鮮明だ通り抜けようとして 横手の店の骨董品に眼がいく 一銀の茶托一つ三千五百円也 釘づけになつていたこすると鱗粉のようなものが舞い立ち 指先は銀色に汚れた△戦前のものでつせえ△店の奥から声が届く



## 二題 隨想



SIGHTSEEING KOBE 8.

有馬・入初式

### 終宵

田中美穂



△画家▽

お酒のお話しになると、なぜか私のところに廻つて来る様な気がする。十年一昔と云うけれど、ひと言昔どころか、もつともつと遠い過去のような気がする。（様な気がするのではなく、私がお酒と付き合うようになつた切掛けは今でも心の奥深くにしみ込んでいる）

その時もここに書かせていただきましたから。

あれから幾とせか、年を重ねてきてお酒の飲み方も少し変つて来ましたが、でも、矢張りお酒は私にとっては、大切な大切な友であり、生命の水に変りはない。

美穂華と云う小さなスナックを始めから「石の上にも三年」と

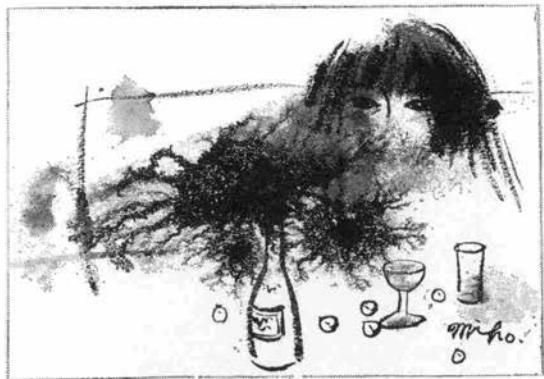
云うが、美穂華もこの三月には、  
その三年を迎える。

見かけによらず人見知りで、口ぶりのようなほうだから（だから身を削つて迄も絵を描いているのだと思う）お客様がおいで下さる迄に、少し飲んで気持をほぐしておかないとしても口が重くて……。こんな愚直な私が、お店をやつて行けるのも長年の友人や、知人の御陰だと心より感謝致しております。

それにしても、カウンターの内側からは今迄思つても見なかつたほど、お酒がはいる程に、その人、その人の癖や性格がすごく見えてきて、おかしいやら、楽しいやら困惑すらすることがある。

おしおりで手をふきながら「さあー帰ろう」まだビールもついでないのに……。歌い終つてマイクを

置いたばかりだのに「一曲も歌つてない！」ほんとうはもう五、六



田中美穂先生、書き下ろしの作品。

曲は歌つている。同じ歌を何度も何度も歌う人「今日はまだ歌つてないもの」酔うとかならず幼なご様に？ オッパイを恋しがる人、ネクタイで口を拭く人、ここには書きづらいことなど、など……ひとり、ひとり違うようにひとり、ひとりらしくお酒と悲しくお酒と淋しくお酒と仲よくお酒と楽しくお酒と楽しくそれにしても誰かが歌う「トンボ」の詩の中に「トンボが舌を出して笑つてらあー」ってあるけど、あのトンボの舌つてどんな舌をしているのかしら。

## 酒に想う

金丸雅博  
〔室 建築設計〕



人はよく何かの時に人生の中でお酒を飲める人間とそうでない人

とではどちらが良いのだろうかと話し合うことがあります。酒の好きな人間には飲まない世界はまったく想像がつかず未知の世界的です。今まで生きてきた中で出会った人のことを考えると、その時々にお酒がかかわっていることが思ひだされます。もしあの時にあの場所に行つてお酒を含んでいなければ今の語らいは無かつたと思う。感謝の気持と不思議さを感じずにはいられません。

極論ですが私的に言えば友だちを作る為にお酒の役割は重要なポイントであり、より酒が強く人を結び付けるものだと確信しています。

反面失敗談も数多くあり、今思ひだしてみるとあまり頭に浮ばず人間とは勝手なものです。お酒の好きな人間は悪いことを酒の性にかこつける所がありこれが飲まない人に嫌がられるゆえんであることがわかりつつ飲まずにはいる所もあります。

そこで映画の一シーンにあるハ

イカウンターのバーの止まり木に一人でグラスを傾け、肩で男の哀愁を物語っている様なカッコ良い酒の飲み方が出来ないものかと挑戦してみましたが無理なことは身体によくないと悟り挑戦は取り止めになりました。かすかな希望を少し残して…。

私は幸か不幸か仕事でお酒を呑む所の設計をすることがあって、常々自分が楽しく飲める「酒場」を持つことが必要だと力説しており、普通考へることには、お金を払って自分で飲んでいる意識が強いのだけれど自分の為に酒場を育てて楽しく飲める様に努めています。皆さんも是非努力してみて下さいきっと樂しくなること受ります。何故かと言うと酒好きの人は何時もかつも飲んでいいのではなく、特に

一人家に居る時などは案外と飲まないと思うし、長時間飲んでる場合には友がいて、語らいがあり、酒を飲む場所これが三大要素だと言つても過言ではないと思ひます。

もう一つ酒の良い



お酒が縁で知り合った仲間達。素敵な出会いもお酒の力。

所を言えば、結構お酒の力を借りて、自分自身の普段人に見せない部分があることに気付いたり、自分の本音がわかることもしばしばあります。

ありハッとすることは私だけではない様に思われますがいかがですか。

唄の文句ではないですが、「酒に心があるならば胸の悩みを消してくれ」とある様に酒の力は強い自分自身の味方として、つき合つて行きたく思つており「酒ありて樂しきかな人生」といきたいものですがまずはもつて健康第一。

## 神奈川県立(鎌倉)近代美術館 —再訪の新鮮な思い出づくり—

嶋田 勝次

(神戸大学建築学科教授)



神奈川県立(鎌倉)美術館

日本晴れの秋の一日、久し振りの上京の合い間を見つけて、鎌倉へ出掛けることが出来た。相変わらずの美術館巡りの一つなのだがそれには回顧趣味まで加わっている。それというのも鎌倉八幡宮の境内の一隅にある鎌倉近代美術館を訪ねたからである。

昭和二十六年十一月、日本で最初の近代美術館として開館してから四十年が経過しているが、その間多彩な美術館活動を展開して来

ている。建築自身は戦後直ぐでもあり、そんなに立派な建築材料が沢山あつたとも思われなかつた時代だったので、気にもなつていて、四十周年ともなるので、大分改装されたとのことである。

鎌倉の街はこの日も行楽シーズンであり、修学旅行の生徒達と中年の観光客であふれ返っていたのだが、この美術館の中は静かで豊かな空間であった。

展覧会は開館40周年記念と銘打つて、私の好きな画家「松本竣介」と30人の画家たち展」が開催中であった。

この建築は鉄骨構造二階建てのロの字型平面で、その二階部分が美術展示の空間となつており、一階の真中の吹抜部分の地上には当初はイサム・ノグチの石造彫刻が地蔵さんのように真中に置かれていたことが思い出されて来る。

この建築の設計は、日本の近代から現代の建築を推進して来た坂倉準三氏である。私自身学生時代にこの作品に接して、そのプランニングからデザインまで一貫して筋を通した新鮮な感覚を持つことが出来たことが嬉しくなり、卒業

設計製作の参考ともしたものである。この旧館の直ぐ横に昭和四十一年に展示室や収蔵庫などが鉄骨造二階建てで増設された。古いものと分離しながらうまく調和した形となつている。

更に昭和五十九年に現在地から離れたところに北鎌倉に向つて約三百米の地に別館が新築された。この新館の設計は、大高正人氏である。シンメトリー二階建の小品ながら、玄関前に神戸出身の彫刻家柳原義達先生の「犬の唄」と称される女性立像が置かれている。大高氏自身神戸楠公さん横の南北道路の彫刻の道を設計した人であり、都市空間のレベルアップに尽された来た方である。

人のつながりを思うと、次々と思われて来るものとして、「松本竣介展」の中で展示されていた「建物(青)」(昭23年5月)があつたことである。この作品目録のうしろに大川美術館藏とあつたし、年譜の最後には松本は6月心臓衰弱のため死去(昭和23年36歳)とあつたことも含めて、単なる奇遇とも思われなくなつて來た。大川氏はダイエー重役をされ、いた当時、二十数年も前だつたが御一緒にヨーロッパ旅行をして同室に宿泊した時に美術のことについて話しをお聞きしたが、その後枚方のお宅にお邪魔したが、日本の美術について熱っぽく語られた一人に松本竣介のことと橋の絵を見せていただいた。NHKで氏が信州で大川美術館をつくられたことを知り、訪問の機会を得たいと新しく思うこの頃となつた。

## 着る宝石 オフ・シーズンのケア。



# Good-bye Fall

豪華な毛皮もそろそろオフに入れます。ところがこれがちょっと気難し屋さん。私たちの髪の毛と同じように脂肪分があり、1回の外出でもかなりのほこりや湿気を吸い込んでいます。毛並のツヤや柔らかさをキープするには、いたわるようなアフターファッショングが必要です。



Since 1933

本社／神戸市灘区記田町1丁目2-16

■大阪支社/06-853-1332 ■つかしん/06-420-3754 ■ローブ・ニシジマ/078-332-2440  
■山手店/078-221-2440 ■宝塚/0797-72-0810 ■リフォーム・フルフル/078-221-9110



佐本  
産科

ママといつしょに



赤ちゃん：中末 千晶ちゃん（平成3年9月25日生）

ママ：真弓さん

「元気で明るく優しい女の子に育ってね。」

★佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15  
☎575-1024(病室) ☎576-9639)

市バス上沢4停南スグ

# エッセイ 風土と文学

田靡 新

姫路市が市政百年の記念事業として、昨年四月に西日本では初めての文学館を建設した。設計は、いまや世界に名をはせる安藤忠雄氏で、姫路城を借景にしたポストモダンな建築は、町の周辺環境を生かした新しい名所として注目されている。

姫路城周辺には、北側に市立美術館、県立歴史博物館や図書館、さらには日本城郭研究センターといった多彩な文化施設が整っている。白鳥のいる堀をめぐる散策コースをさらにすすみ、船場川を渡った西に開館した文学館が加えられ、姫路もいよいよ文化都市宣言のできる基礎が固められたといえそうだ。

ふりかえれば播磨の歴史は古く、それだけに文化交流もさかえ、豊かな文化をはぐくんできた。華麗な雄姿をいまに伝える姫路城も、そうした永い歴史上の文化を熟成させた象徴として十分にその価値が生かされている。

そうした古代から近代に至る郷土にかかわった姫路近郷の出身者である学者や作家たち十名の業績が、文学館の主流な展示テーマになっている。まず常設コーナーを紹介してみよう。玄関を入れると播磨風土記がひかりと解説を併せた絵巻物さながらに古代歴史を曼荼羅調にひも解いてくれる。

一階には史料編纂事業をなしとげた先駆者の三

上参次、医学博士で歌人でもあった井上通泰、日本民俗学の父といわれる柳田国男、仏教史研究者であった辻善之助、哲学者の和辻哲郎。二階には詩人の有本芳水、歌人の初井しづ枝、作家の阿部知二、椎名麟三、そして学生歌人で夭折した岸上大作ら近代以後、播磨が輩出した先人たちの肉声やビデオも設けられ、生涯でなしとげたそれぞれの偉業にふれることができる。

その他二階には企画特別展示室があり、開館記念の和辻哲郎展、姫路の城主であつた酒井宗雅展、そして播磨文芸祭として昭和二〇年代の播磨の文学運動“焼け跡のルネッサンス”など地元文芸人たちとの共存が、こんどの文学館の生き方を示唆している。

三階には二百名は入る講堂があり文化講演などの催物が開かれる。その東側の大型ガラス窓から姫路城が一望でき、四季折々の風景が愉しめる。疲れれば二階の喫茶室でいっぷく。館外を流れる人工の川も見下ろされ、西側高台には竹藪のある純和風建築もあって、お茶会に名月会の宴にも利用できそうだ。

文学館も開館以来、全国から見学者が来姫し入る。

場者数も予想を上回ったと聞く。

### ★椎名麟三との出会いが生涯の勉強に

筆者が文学館にかかわったのは、常設展示されている椎名麟三（一九一一～七三）に学生の頃に出会いの生涯の知己になれたからだ。戦後文学を語るとき椎名の存在は無視できない。実存文学の旗手であった椎名にも暗い哀しい少年期があった。

姫路中学（現西高）三年生のとき家庭の事情で家出。それ以後故郷をうらみ二〇代で人生の辛酸を嘗める体験が、やがてドストエフスキイにめぐり会い独特的文学『深夜の酒宴』『自由の彼方で』『美しい女』などの名作を生む。

筆者は椎名と同じ小学校区内に育ち、生ぐさい文学青年だった。やがて椎名と文通し、故郷を捨てた筈の椎名を三十年ぶりに母の里書写へ呼び戻す結果になる。それ以後、没後も含め三十余年椎

名文学を顕彰するためには文学碑を建立したり、神戸で文学展を開いてきた。そして毎日三月二八日には、『自由忌』なる集いをもち協力者とともに椎名文学の継承を願っている。そして、来年は没後三十一年。数ある戯曲作品の上演を企画したいものだと。

洗礼をうけた椎名と関係する「たねの会」の十名が、関東から昨秋文学館を見学。その案内を引き受け、椎名の生家や書写山頂の文学碑にも回遊することができた。札幌から参加の人からは椎名にかかる足跡のきめこまかな解説を喜んでもらいうやく全国にひろがってゆく気がするのである。



▲モダンな姫路文学館。安藤忠雄氏のデザイン。

▼姫路城を背景に文学館見学の「たねの会員」と。



# 風に舞う酒

横塚 繁

△画家△

絵／灘本唯人

上野の美術学校へ通っていた頃の東京は、食糧難に住宅難、友人の弁当をわけてもらい飢えをしき絵筆を握っていたが、いよいよどんづまりになると生まれ故郷ではなく、別の神戸を目指した。D社に勤めるいささか話のわかる遠い遠い親戚のおじがいて、その愛人が多聞通りの中程にすき焼屋をやっていた。その店に駆け込んでは、いろいろと御馳走になつた。だんだん図々しくなつて、酒やビールを持出し、知りあつた女性を連れ夕闇の須磨の海岸へ行き、熱い酒もりをした。すぐ後をゴーと通り過ぎて行つた列車の響きが耳に残る。意地悪い酒のはじまりである。

日支事変の頃は平野小学校にて、この学校の第一回卒業生小磯良平寄贈の踊娘の画を講堂の壁面に仰ぎみては憧がれ、朝日新聞連載小説「新雪」の田村孝之介挿画を見ては憧がれて、東京美術学校に入つてしまつた。が、直ぐに逗子にあつた武山海兵团に動員された。ここでは、毎日敵の飛行機や戦車の図や米られ海軍へなどのポスターを描かされ、夕暮れ早々ビールや酒が出て、警報

何のその、飲めや歌えが始まつた。病棟の看護婦さんが赤チンで染めた口元をほころばせて卵や砂糖をさし入れてくれたのを思い出す。ここで酒の旨さをしみじみと覚えた。

進駐軍もいなくなり、世の中が次第に落ち着く頃、東京では売れないのに神戸では知人もいたおかげで絵が売れた。

摩耶山に登り、まだ荒れ放題のホテルのそばで真暗くなるまで写生して、電車のいないケーブルカーの黒々と薄気味悪く下界にのびる線路上を脅えながら下山したのだ。住んでいた東京三鷹の三軒長屋を買い取る意気込みで頑張つたが、結局友人に汽車賃をかりて東京へ帰る始末となつた。

その頃、近くの上水で太宰治が心中した。銀座のネオンも賑やかになり、すえた匂いのする新宿裏や新橋裏のカストリ時代から、ハイボール時代に変つて行つた。だが落ついて仕事の出来ないアトリエも無く結局挿画の仕事が次第に多くなり稼いでは遊び、ニューフェイスなどと呑み歩いた。真紅の爪やくぼんだ横顔にみだれる髪の影な

どに心をうばわれた。一寸、どぶくさかっただが元町駅の地下街、三ノ宮の裏あたりにあつたシルバー・ムーンという店によく行つた。新聞社の人達や作家の方々とも呑み友達になつた。この店にすごい美人ではないが女学生のような純な人がいて仲よくなつた。雨の夜、芦屋の彼女の家で御馳走になつた。卓上フライを食べていると突然御亭主が帰つて来て、「君は彼女と結ばれるだろう」といわれて腰を抜かした。帰る時、雨夜に墨絵のように連なる六甲連山をふり仰いで彼女の一寸くずれた裸体像を思い描いた。

東京の女性もよく神戸へ同行した。

神戸そごうでの個展の時も大変だった。イラストがなかなかとれず作品をつくるのに苦労し



た。徹夜で描いて車に積み込み午前四時出発、居眠り防止のため助手席にバーのママさんを乗せ、まだ東名の無い頃で箱根を越え一号線をひた走り、名古屋からやっと名神に入り、夜の十時頃そこで店に到着、会期中も政治家の秘書などを神戸に連れ込んだ。今思うと、なぜあの時、あのようバタバタしたのだろうか、絵の未熟さをカバーするために自分の心にカバーするためだったかも知れない。その証拠に神戸の画家と会うのがとてもいやだった。しばらくして陳舜臣さんの連載小説の画を大阪の朝日新聞社でやる事になった。

日中戦争の頃の物語りで、水害の頃など古い神戸の街角が出て来て懐しく思いながら描かせてもらつた。

連載の終りに近づいた頃、新神戸駅の近くにマンションをかりることにした。画廊の主人との相談もあり。三田や篠山、神戸港などを描くのが目的であったが、これはと思う作品は出来なかつた。風呂の無いホステスが風呂に入りに来たりしただけだつた。

たまにすき焼きパーティーをしたが、一人窓から港の方をスケッチするしかなかつた。港三ノ宮も、知り合い愉しい思い出の人達もママさん達も、次々に消えるように居なくなつた。港の香りのする店も次第になくなつて行くよう気がする。あちらも、こちらも、ビルバーになつてしまつたからかも知れない。こちらも知らぬ間に年を重ね、昔のように呑めなくなつた。神戸へ行く回数もぐんと少なくなった。たまに行つても、画廊の主人が「神戸っ子」の小泉氏と食事をするぐらいになつてしまつた。

# 神戸 ジャズ物語

MY BLUE HEAVEN

原案・末廣光夫  
脚本・松田伸二  
演出・夏目俊二

この街は、あらゆる物事、現象の発祥地でもある。  
「映画」、「ホテル」、「カラオケ」、「ラムネ」、「缶コーヒー」等々、数え上げればきりがないほどの物がここ、神戸から全国に広まっていくことになった。その中でも特筆されるもきもの——そう、それがジャズ。  
神戸にて初のプロのバンドが誕生。

その明るいリズムは、鮮烈に人々の心を捉え、そしてあつという間に國中を魅了していった。今でこそ、すぐ口について出てくる“スティング”という感覚、この感覺はどれほど強烈に人々の心を刺激したことであろうか。

ところが、その後の日本と言えば、みなさん周知のように、次第に暗い世界、つまり戦争という泥沼へとのめ



左から、  
財津一郎さん、瀬戸内美八さん、笹野高史さん

## 新神戸オリエンタル劇場

2月7日（金）～2月16日（日）  
S席 6,000円 A席 3,500円  
全席指定（消費税込み）

り込んでいくことになる。そして、人々に新しい音楽の喜びを運んできた“ジャズ”的ともほのかりの火が、危うく吹き消されそうになる。

こういった波乱の時期、初めて“ジャズ”的火を灯した人々、そして、その火を何とか灯し続けようと闘つてきた人々。こういった人々は、言わば、世間の裏側で動き続けてきたものとたらえらがちで、表面的には事実はあまり知られていない。とても残念なことがあるが……。

「神戸ジャズ物語」は、こういった大正末期の神戸で実際にあった出来事をもとに、「ジャズ」を愛する人々の姿、音楽、そしてそれらにまつわる数々のエピソードをおりこんで、神戸発のオリジナル作品として上演される物語。

原案は、ラジオ関西の名音楽番組プロデューサーとし

て名高い末廣光夫氏。「神戸がジャズの生まれた地であることは知っていても、それがいつどういった形で成されたかは誰も知らない。その辺を事実に基き、つづったものです」と語る。演出担当の劇団神戸の夏目俊二氏は、「なぜ、ジャズが生まれたのかというところに重点を置くことがポイント。とかく歴史というものが軽視されがちなここ、神戸の街だが、そろそろ、その歴史的な事実に目を向けてみてもよいのではないだろうか」と口にする。

ストーリーは、大正末期、宝塚歌劇団の楽団員として一人のトランペッター井上竜が東京より神戸に招かれるという設定で始まる。まだ下品で粗野な音楽としてとらえられていた“ジャズ”、彼は、歌劇の幕間に、その“ジャズ”を演奏して、歌劇団を追放される。そんな彼を理解できない妻、綾乃。世間の無理解、風当たりの中で挫折感を覚え、孤立し、自信を失っていく井上……。

そんな彼を後ろから支えたのが、大阪のダンスホールのオーナーである河井大伍。同じく、井上を支えた芸者のいち花。

多くの苦難を乗り越え、ついに日本初のジャズバンド“井上竜とチエリーランドオーケストラ”が誕生する。舞台では、バンジョーの音色をしゃみせんで出してみるとか、げたでタップをふむ等、いろんな試みも楽しめる。河井大伍役の財津一郎さんは、ジャズから音楽に入つていった人としても有名であるが、「何か、あまくて、なつかしい思いが湧いてくるねエ」とやる気充分。

その財津さんの歌いあげるスタンダード・ナンバーもじっくりと味わえるステージである。



記者会見中の財津さん始め、関係者の方々



神戸国際展示場にて

★神戸空港第6次  
整備計画に入る  
12月18日、神戸国際展示場に於いて、各界各層から多數の出席者を集めて、神戸空港報告会が開かれた。永年の念願であった神戸空港の第6次空港整備五カ年計画(閣議決定)を祝い、今後の活動への新たなる想いを確めあつてゐる。

KEI—POKE

經濟

### ポケットジャーナル



KFI - POKE

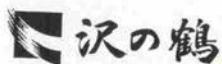
★練アシックスがニュー  
シンボルマークを展開中  
'92バルセロナオリンピック  
のオフィシャルスポーツ  
シユーズのスponサーである  
る㈱アシックスが新しいシンボルマークを決定、選手のウエアに付けるなど、昨秋から展開を始めている。

21世紀に向けた新生アシックスのシンボルとして商品や契約選手、また新聞などのメディア広告すべてに使用し、将来的にはグローバルマーケティングを推進するための世界的な統一マークとしていく予定。★酒造メーカー・沢の鶴が新しい顔に

象徴。ベースの四角形はこれまでに培ってきた安定感や信赖感すなわち伝統を、左上に力強く伸びる翼は、成長への意欲と活力を表わしている。



第三章



泥の都物



★KOBÉオフィスレディ★

小田垣陽美さん(23)

ゲレンデでスキーやを楽した夜は、ロッジの仲間と「ほろにが」で乾杯するのが最高ですね、とおしゃる小田垣美香さんは、行動的知性派のお姫さん。ビールが大好き、それも「アサヒ」。オーリーだったから、就職先は絶対アサヒビールと決めていたの。さう言って、「ほろにが」というよりも、甘さをたたえた頬にえくぼをつくる。「ほろにが」—その豊かなコクと上品な味わいは、おとめ心をしっかりとつかんでいるようです。しし座のB型。神戸市在住。

神戸支社勤務ル

近代的システムを備えた工場、ビル全体が清潔感そのままのものである。

魚崎に新工場を完成  
新幹線の駅弁で有名な  
株淡路屋が、今年一月下旬  
旬、魚崎に新工場を完成させ、  
新たな発展の段階を登  
っている。

阪神魚崎駅より歩いて10分、六甲アイランドも近い。  
新工場：神戸市東灘区魚崎南町3-6-18。



杜氏とは、酒を造る職人の頭ですが、酒造りの職人を総称して杜氏と呼ぶこともあります。杜氏の出身地、兵庫県丹波地方は、日本最大の杜氏出身地で、江戸時代宝暦年間における記録が残されているほど。その丹波出身の杜氏の手によって銘酒・小鼓は醸造されています。

兵庫県氷上郡市島町中竹田 鐘西山酒造場 0795(86)0331



但馬は、兵庫県北部地方に位置し、冬季は山里で2メートルの積雪をみることもまれではありません。現在約2000人の季節造酒工が全国の酒造場で日本酒の生産に励んでいます。香住鶴の石津六郎翁は但馬杜氏の優秀な技術と伝統を受け継ぎ、芳醇大臣賞を受賞した名杜氏です。

兵庫県城崎郡香住町森 香住酒造有限会社 ☎0796(36)0029

ダンゴ鼻はどうすればいいの  
鼻筋を通すだけで、スッキリした鼻に  
なります。隆鼻術というと「鼻を高く  
する」というイメージが強いのです  
が、顔のバランスが大切なのでむ  
やみに鼻だけを高くするわけに  
はいきません。鼻孔の内側から  
手術するので傷は分らず、  
周りの人気に気付かれる  
心配もありません。

シン・レックス  
飛んでった

タラコ唇だと  
キスしたくないのかしら…?  
唇が厚いと口がとがって見えることもあります  
り、上品なイメージからは遠のいてしま  
いますね。5~6ミリ薄くするだけでノ  
ーフルな感じになります。口中から手術  
するので傷は全くわかりません。上下  
単独で手術することもできます。

## 〈料金システム〉

目 (二重)	鼻 (隆鼻)	唇 (上下)	アゴ	ホクロ イボ	豊胸	脂肪 吸引
片目 8万円	両目 12万円	23万円	25万円	23万円	1コ 1万円～	60万円 ～

品川美容外科

神戸078(331)718

神戸市立  
神戸市立

神戸市中央区三宮町1-3-3  
小林ビル6階

男性専用 070-001-4122

- 東京
  - 大阪
  - 名古屋
  - 福岡
  - 鹿児島
  - 広島
  - 京都
  - 横浜
  - 千葉
  - 仙台
  - 札幌



□酒 特集▽1▽ 対談

# ゴジラも酒を飲むか!

新井 满 ▽作家▽ VS 大森一樹 ▽映画監督▽

大森 满さんは、東京のどのあたりで酒飲んでるの。

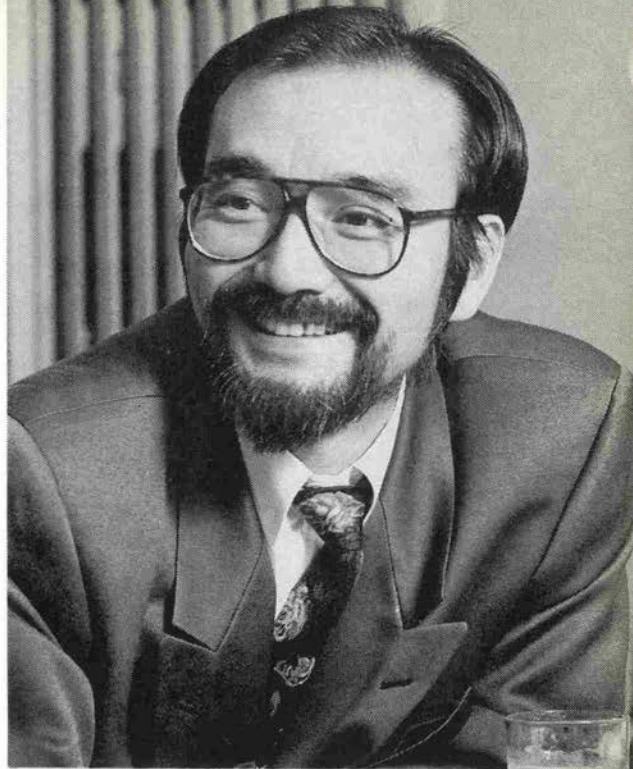
新井 俺ねえ、会社でマジメに仕事してて（笑）十時、十一時くらいまでも残業やるし、飲む時間ないんだよ。小説は、土日にまとめて書いてるね。ストレスが少したまつるので、飲みたいんだけど……。昔はよく飲んだもんだ。神戸の酒が、やっぱり一番だったね。まだ回顧的になるのは早いか（笑）。

大森 新井さん、薩摩道場に連れてもらったよね。「花の降る午後」で神戸にスタッフみんなといったときに、

常飲み屋になつて……それから三劇映画館の前の小路をちょっと入った屋台にも……おじちゃんとおばちゃんがやつてる。店の名前はわからんないア（笑）。

新井 薩摩道場は、三宮と私立神港高校の下側に本店があるかな。薩摩揚げが、うまいよあそこは。僕はね、酒だけというタイプぢやないね。必ず何か食い物がないとダメなんだ。

大森 神戸と酒と青春となると、僕らは金盃森井本店につくるね。ルーツやね、あの店からはじまつたんや。生



新井 满氏（あらいまん）

昭和21年新潟生まれ。上智大学法学院卒業後電通に入社。28歳のとき電通神戸支局へ転勤し、日本酒CFの仕事で森教氏に出会う。「月山」、「ワインカラーのときめき」など多数作曲。また環境ビデオ撮影のため国内各地を巡る。42歳のとき「尋ね人の時間」で芥川賞を受賞。最新作にプラハを紀行する綺譚集『カ夫カの外套』がある。

田筋のところだよね。「暗くなるまで待てない」で使わせてもらつてね。この字型のカウンターがあつて……安いのよ、みんなでべるんべるんになるまで飲んで、ワリカン、ハイ千円! (笑) 今じゃ無理だろけど。いや値段じやなくて、あのころの飲み方ができる体力がないのは……(笑)。懐しいなあ……昔のパワーが(笑)。

新井 今思い出したけど、神戸ハイボールという店があつただろう、朝日会館に。会館も店もなくなつてしまつたね。あのビルは風情があつたよ。映画を観てるとキスシーンでもないのにチュウチュウ声がしてね、変だなと思つて足もと見ると、ネズミが運動会してんだ(笑)。朝日会館の地下にあつてね、殻のついたピーナツが出るんだ。その殻が靴のあたりに飛び散つて……家に帰えるまで靴の先にくついてんだよ(笑)。玄関先で払つてから、ただいま帰りました……となるんだ。

大森 「風の歌を聴け」でピーナツをカウンターの下に落とすシーンは、神戸ハイボールがヒントで(笑)。落下の殻を床に落とすというのは、神戸だけどちがう?

お洒落やねエ。

新井 投げやりな感じもするなあ。でも神戸でやるとサマになるね。街に合うよ。東京でピーナツの殻をそななことすると、殺伐とするね。(笑) 亂れ飛び散つたピーナツの殻、これが神戸では風景になる。(笑)

大森 ちょっと話変わるけど、神戸の街のよさって何だらうね。「満月」や「ゴジラvsキングギドラ」の撮影で、札幌、青森、弘前、博多と巡つたけどね、やっぱり神戸にはかなわないと感じたんだ……。

新井 神戸の地形が、まずいいんだよ。神戸の坂道だけ、あのスロープがなんともいえない神戸の雰囲気をつくっているのね。東京じゃ平坦でしよう。神戸の場合ね、海から海岸通り、三宮筋、山本通り異人館、そして六甲山へと登つていくね。夜になると、逆に六甲山の裏側から夜の闇が、静かに海へ向かって降りていく。黄昏色が、そろそろ夜でございますよ(笑) と三つ指ついでね、ひたひたと夜がやつてくる(笑)、そのgradation(色あい)がなかなかよろしいのは……と思うよ。立地



大森 一樹氏（おおもりかずき）

昭和27年大阪生まれ。京都府立医科大学在学中に、「オレンジロード急行」でシナリオライターの芥川賞といわれる城戸賞を受賞。'87年の「恋する女たち」で斎藤由貴を起用、新人女優賞など多数の賞を獲得した。また神戸市制100周年記念映画としても話題となつた「花の降る午後」、企画構想6年の傑作「満月」などで巨匠的地位を着実に登りつめている。東宝60周年記念映画「ゴジラvsキングギドラ」が大ヒット中である。

条件の絶妙のよさ、それは大森さんの行った街にはないだろうね。東京は、夜と星かのどちらかでね、夜の闇が静かに星に浸透していくあの黄昏色がないんだね。夜でもない星でもない中間領域、あるいは夜でもあって星でもある、それが誰そ彼どきなんだね。いちばん文学的な時間帯なわけです。灰色の時間かな。白と黒を密かに抱き込んだ時間……になるでしようか。

### ★酒のめば 恋もなさけも わかります

神戸まり木 たそがれどきに

新井 藤原定家にこんな歌がありますよ。

見わたせば 花ももみぢも なかりけり

浦のとま屋の 秋の夕暮

この「秋の夕暮」が、黄昏のことなんだ。かつては栄華をほこり、青春まつ盛りで、紅葉も錦繡でね、色あざやかな風景があつた。それが今やなんにもなくなってしまった、すべてが亡び去ってしまった。「浦のとま屋」つまりね、うらさびれた海岸べりの貧しい漁夫の家があるばかりで、がらんどうの風景になつてしまつたと、定家はそういう風景を歌つたわけでしょうね？ そんな気持のときには、酒でも飲まにやね、やつとれん（笑）藤原定家はそんな気持を言いたかったんじゃないのかねエ。



酒聖 アラマンラー

え／たかはし もう

秋の夕暮でボクは酒を飲みたい、そうでないと生きていかれん、そういう心境でしようね。だからね、強引に黄昏に結びつけとね（笑）。酒でも飲まないとやつていられない時間帯、ということになるわけです。星なら働く、全くの夜なら寝てしまう、その中間で何かが起こりそうな胸のときめきがある時刻なんですよ。

大森 ……？（笑）なんと文学的な！（大笑）僕は、神戸ではミッドナイトが好きだなア。十二時が過ぎ……人

が少なくなつてゆく時刻。北野坂辺りの夜は最高だよ。〔花の降る午後〕を、ファースト・フライでロケやつたけどね。店の窓から見える風景は、もうサン・フランシスコ。スタッフの連中、ほおと息をのんだよ。ライトを点けた車の流れが、夜の間に浮かぶ銀河だった。

新井 住むなら外国ではシスコ、日本では神戸だよね。両方とも港街でしよう。それに坂のある街ですね、それでね船乗りがさ、長い航海のはてに上陸するでしょう、そうするとご婦人方が、ことのほか美しく見える（笑）、それで恋が生まれるよね。しかし船員ですから、やがて船は出していく煙りは残るでさ、恋人が船で去るときにご婦人が見送りにくる。でも平坦な街だとね、恋人はすぐ見えなくなつてしまう（笑）それが丘の上だとね、ずっと遠くまで船を見送くれる。残ったご婦人はハンカチを

振りながらいつまでも涙を流す（笑）出会いよりも別れ

が似合う街、それがシスコであり、神戸であるわけなん

だね。うしん、これはなかなかリツバな説明だ（笑）。

大森 卓説です。（笑）神戸の酒場のイメージと関係す

るかもしれないけど、港街神戸はバアが似合う感じや

ね。居酒屋でおでんというんじやないよ。カウンターに

ウイスキーの水割り、それとクラッカーとチーズ……と

いう雰囲気が神戸の酒場のイメージやね。

新井 谷崎潤一郎が飲みに行つたとかいうバアにうちの奥さんと昔行つたよ。バア・アカデミーだったか、今でもあるのだろうね。文豪がさりげなく飲んでいたといふところが、感慨深いね。キザさかげんがいいのかな。ほかの街でキザやるとアホかなんてなるけど、神戸だつたら許されちゃうよ。僕は、キザがズボンはいて歩いてる、と言われてるけど（笑）。

大森 僕は、キザに対する憧れがあるね。キザで迫まりたい（笑）。生まれは大阪で、大学が京都。だから神戸っ子やないんやな。神戸っ子憧れ派になるかな。

新井 あなたの「ヒポクラテスたち」ね、京都が舞台だけど、大森一樹監督のキザさかげんが自然体で出ている傑作だよ。でも「風の歌——」のほうは、神戸に憧がれた分だけ、ちょっと固くなつたように思うけどね。僕は新潟の生まれでね、神戸からはかなり離てるわけ、そうすると神戸の街の全体像がはつきりと見える、ということもあるかもしれない新潟と神戸では、ちょっと離れすぎかな（笑）。一方大森さんと神戸では、距離が近すぎてね、ほら、男と女とがお互いの瞳ばかり見れば、相手の全体の姿見えてこないもんね（笑）。

★ 神戸は、いつもオン・ステージ！

奈落がなくて、バラエティーに富む街

大森 キザを許してくれる街神戸は、自分の性に合っているのやね。合わない人もいるんじやないの。僕はバアのあの気取りが好きなんだ。

新井 神戸に来なかつたら、僕はこんなにキザにならな

かったよ（笑）。

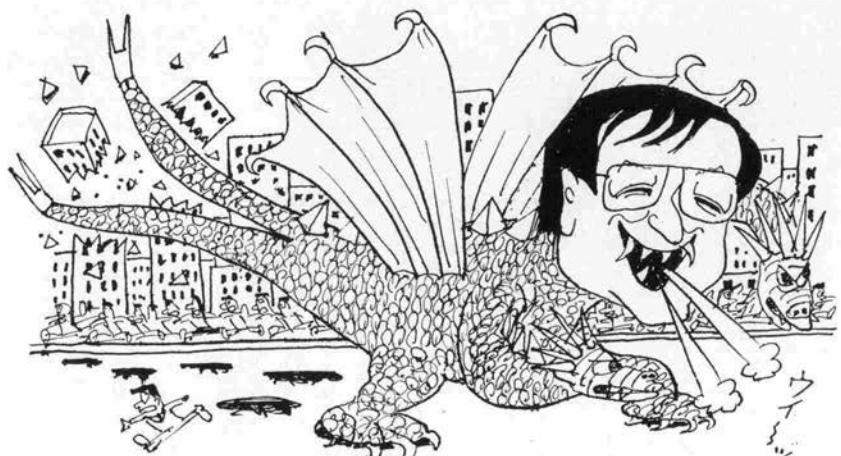
大森 僕の映画は、都会派なんて呼ばれたけど、神戸イ

コール都会というイメージするね。東京は都会かな？、都市という感じ。都会ってなんやろな。風景としての都

だ。東京は六本木や青山がそうだけど、ちょっと離れる

ともう奈落（笑）。

大森 三宮から元町まで行くのにテンション落ちない



酒獣 キングカズキラー

え／たかはし もう

よ。六本木から青山へ行く途中“田舎”になるよね。暗いところ通つて……。

新井 体験談をしますとね、レニンガードは街全体がステージだったよ。神戸も圧倒される街だ。サンクトペテルブルクに改名されね、ピヨートル大帝時代の名前に戻ったんだね。レーニンをも抹殺してしまったわけだ。街を縦横に運河が流れ、北のベニスと贊美されて、わずか二百年の都市とは思われないよ。ニュー・ヨークよりも新しい街よ。でも中世の都市の名残りが街じゅうに漂つていてね、これはもう絵になつているんだ。黄昏が見えるよ(笑)。建物も高くなく、エルミタージュ美術館を越すビルは建てないきまりなんだね。そうすると空が広いんだ。黄昏の夜の色調、グラデーションがくつきり見える。上層から黒、紫、スカイブルー……とね。

それを眺めていると、一杯やりたいたい、と……(笑)。ウオッカ飲んだね。黒パンのすえたようなにおいを、大みにクンクン嗅ぎながら頬張ってね。神戸の話がどこかに飛んじやつたな(笑)。

大森 そのペトログラードの小振りの街が神戸というわけ?(笑)僕は戦争知らない世代だけど、神戸は空襲で焼けてしまったからね。ハーバーランドができると、メリ

ケンパーク通つて元町へ出て三宮へと、この道すじの黄昏を僕らは樂しむことになるね。神戸の街が地理的に広くないのが最高のメリットだと思うよ。北野坂から旧居留地まで歩いていけるもの。だから、バラエティーに富んで、それらを丸ごと、神戸の街全体を享受できるのやと思う。神戸の街の魅力は、これやな。横浜も神戸と同じ要素をもつてると、それぞれが離れすぎてるでしょう?

新井 横浜は、スロープがないのね。平なんだ。

大森 横浜球場があるくらいなんだから。三宮に球場なんか入る余地ないよ(笑)。

★新井「黄昏ときには、カフカも外套忘れて飲んだかも」

大森「ギドラを倒した後は、ゴジラも乾杯したかな」

新井 神戸の酒場のイメージで、バーを大森さん挙げたでしよう。カウンターがあつて友人と肩を並べて飲んでる雰囲気を……。

大森 映画のシーンでも撮りやすいんです。考えてみると全部二人で並んでるな。『風の歌』——そりだし……。

新井 ということはね、対話にならないわけですね、ひとりごとの応酬なんだ。だからグチも話しやすいい……。

大森 恋人との別れ話とか、「好き



“並列型”で、たそがれ文化を語る新井さんと大森さん。

です」と告白するのも、カウンターを前にして言うとで

きそうだよ。面と向かっては言いにくい（笑）。

新井 パーテンダーのうしろのミラーを、ときどきチラ

ツと見ながらね。経験談かな、あなたの？（笑）対峙しな

い、という人は現代的な人間関係だよ。常に二人で同じ

ものを見る——例えね、夜月が出てて、恋人二人が歩

いてるとする。男が「月が出てるね」。二人で同じものを眺めるわけ。こういう人間関係は、長続きするね。

大森 基本的に現代は、人と人が向かいあっていいん

です。時たま向かいあって、一言二言しゃべる。そんな

関係の縮図がバアにあるという気がするな。

新井 夫婦も、だんだん対峙型から並列型に変化していく

んですね。僕と女房も、並びながら同じ風景を見て

ね、それでお互いの顔を眺めるのをやめようと（笑）。大

森さんのところは、まだ対峙してるでしょう？。愛を告

白しあって、じつとお互いの瞳を見つめ合い（大笑）。

大森 いやもう、そんなことは（笑）並列型に移りつつあ

ります。結婚して十二、三年になりますから。

新井 うちには、もう二十年だからね。二十年を越すと、

けつして対峙してはならぬ（お二方、大笑い）。

大森 二人で同じ風景を見て生きていこう、というのは

積極的な意図を含んだ言葉ですね。二十年の夫婦の生活

から出た重々しいものが感じられます（微笑）。

新井 夫婦一緒に旅行へ行ってね、同じ景色なんかを眺

めてね。歳とつてから、二人で思い出話ををする。あんな

ことがあった、こんなことも……と。夫婦の思い出作り

のために人生後半を生きていく…。

大森 そういう考えは、四十歳が境となって出てくると

思いますよ。僕は今三十九、この三月で四十（沈黙）人生

八十年とする四十の歳が山の頂上。そのとき、全体

がね、今までの道とこれから先のことが見わたせる感じ

やね、それでとぼとぼ下るしかない……。

新井 峠です（笑）。峠の頂上から今までの糸余曲折、くねくねした苦労の足跡がはじめて分かるこの残酷さ（笑）。

大森 はるか彼方にゴールも見える（笑）。これが、ほんとの黄昏文化、たそがれ人生やなア……。

新井 酒でも飲まにや。しかし人生後半から、酒がうまくなる。いいゾー、これからが（笑）。

大森 昔は、多聞のコマーシャルなども作ったけど、まだ本当の酒の味は分かってなかつたと反省しなきや…。

新井 僕は電通の大坂支局から神戸にきて、僕の最初のプレゼンテーションが沢の鶴で、壇ふみさんと各界の有名人との対談という企画やりましたね。森敷さんともそのときお会いしたわけです。二子山親方、音楽家の高木東六さん、将棋の内藤国雄さんにも出てもらいました。

神戸では酒のグループに入会してね、バーボンクラブです。二十年ほど前ですよ。バーボン圓んで、筒井康隆さんや画家の石阪春生さん、ジャーナリストの宮田達夫さんと松井一郎さん。現在、生田神社宮司でいらっしゃる加藤隆久さん、陶芸家市野豊治さん、デザイナーの中西省吾さん、音楽方面では小曾根実さんと松本幸三さん、

彫刻の新谷秀紀さん、梅晴夫さん。日本舞踊の若柳吉金吾さんもいて、クラブの歌も作って楽しみました。

大森 グループ無国籍という飲み仲間連中が、僕にはいて、その中の一人、持田君が外人バー“ボパイ”的後そのまままでレティシアといふバーを元町に出しますよ。

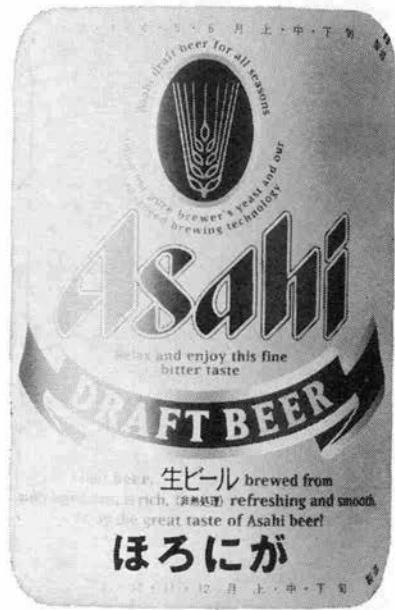
新井 僕レティシアのレコード出したことがあるんだ。アラン・ドロンの代わりに、新井満が日本語で歌ってる。昔の話だよ。モンタンも死んじましたし、俺は歌ではドロンを越えたし……。これから先は、たそがれ人生ではないぞ。『カフカの外套』も好評だし（笑）。

大森 「ゴジラ」も絶賛上映中！（笑）。

新井 ゴジラは酒を飲むかな。五時から出没するからたそがれどきだ。永遠のたそがれ怪獣。酒びたりだよ。

大森 キングコングは飲んでたね。ゴジラにはミニラという子供がいるから、パパゴジラは家へ早く帰つてしまふよ（笑）。

ほろにがを、  
ついでください。



まろやかなコクと爽やかなほろにがさ。

アサヒ生ビール  
**ほろにが**

アサヒビール株式会社



SAPPORO

私たちは味わいライフを追求します

**結局、飲んでる  
黒ラベル**



**サッポロ<sup>(生)</sup>黒ラベル**

サッポロビール株式会社

●未成年者の飲酒は法律で禁じられています。

# THE KOBECCO

月刊神戸っ子 31周年 計念パーティご案内

- 第21回ブルーメール賞表彰式

## 世界の酒祭り

- '92 神戸酒徒番附表彰式

- ショータイム

演出／植田 紳爾

麻鳥 千穂／近衛 真理／瀬戸内美八

“Swing Kobe”

- 恒例チャリティ福引大会他

---

'92 / 4月28日(火) PM 6:00 開演

神戸ポートピアホテル偕楽の間(302)1111 会員券 ¥15,000 (神戸っ子俱楽部) ¥14,000

---

主催／月刊神戸っ子

お申込み／078(331)2246 Fax 078(331)2795

後援

神戸百店会他